

万葉図書・情報室だより 57号

ばんのほん

万葉図書・情報室の書架でふるゝい本を探してみました。明治二十四（1891）年、博文館から出版された万葉集の注釈を含む『日本歌學全書』。素敵な表紙（図1）をめぐっていくと、

佐々木弘綱／佐々木信綱 標註
万葉集 上（図2）と書かれています。

さらに、もろくなつた本のページをめくっていくと、緒言（論説の前書き。序文）があり、万葉集の本文にはいつていきます。緒言と同じように頭注と本文に区切って展開されていきます。ただ、現在の書籍のように歌番号は付与されていません。



（図2）

ん。（歌番号は、明治三十六（1903）年国歌大観の刊行により付与されました）。



（図1）表紙

父である弘綱が、1891年に亡くなったため、子の信綱に引き継がれて出版されました。信綱の万葉集研究の第一歩ともいえるものです。出版から百年以上も経ち劣化が進んでいます。手にとってご覧いただきたい貴重な書籍です。これから大切に保管したい一冊です。



信綱氏は

国学者・歌人である弘綱氏の長男。『校本万葉集』を出版し、万葉集の基礎を完成させた（万葉図書・情報室だより33・34号で紹介）。歌人・国文学者・万葉集研究者としての実績も豊富。昭和十二（1937）年第一回文化勲章受章。



「佐々木」「佐佐木」どっち？

信綱が中国へ遊学した時、作った名刺が「佐佐木信綱」と印刷されていてそれを大変気に入り、以後の著作物に「佐佐木信綱」と使うようになったようです（鈴鹿市ホームページより）。

（参考）『佐佐木信綱』 佐佐木頼綱著

コレクション日本歌人選

ほんのBA 情報

ISBN

本のカバーの裏表紙や奥付に13桁の数字が並んでいます（図3）。これを ISBN（International Standard Book Number・国際標準図書番号）と言います。国際的に通用するものです。ISBNのはじまりは1967年にイギリス出版協会が作った SBN（標準図書番号）で、それを基にした ISBN が1970年より国際標準化機構規格として承認され、世界で使われ始めました。日本では1981年から導入されました。電子書籍や地図も ISBN の対象です。『本と図書館の歴史』の裏表紙に書かれています。ISBN を例にして確認してみます（図4）。

（図4） ISBN978-4-89013-923-1



（図3）

- ① 接頭記号(各国共通)
 - ②※ 国記号
 - ③※ 西村書店 (出版者記号)
 - ④「本と図書館の歴史」 (書名記号)
 - ⑤ チェック数字
- | | |
|------------|-------------|
| ※②国記号 | ※③出版者記号 |
| 英語圏「0」・「1」 | 「00」 岩波書店 |
| フランス語圏「2」 | 「01」 旺文社 |
| ドイツ語圏「3」 | 「02」 朝日新聞出版 |
| | 「03」 偕成社 |

『本と図書館の歴史』（図3）は、世界最古の図書館を作ったの

は？ 羊皮紙を半分折ったものが本の始まり？ など、優しい挿絵とともに古代の図書館から電子図書館に至るまでを紹介しています。

（参考）『世界大百科事典』平凡社
・「日本図書コード管理センター」
<https://isbn.jpo.or.jp/>

書籍のご案内

- ☆校本万葉集 (佐佐木信綱編 / 岩波書店)
- ☆万葉五十年 (佐佐木信綱著 / 八雲書店)
- ☆増訂 万葉集選釋 (佐佐木信綱著 / 明治書院)
- ☆万葉辞典 (佐佐木信綱著 / 中央公論社)

利用案内

開館時間 午前10時～午後五時半
休館日 一月曜日（祝日の場合は翌平日）・年末年始・展示替日
図書室のご利用は無料です。
閲覧でのご利用になります。

コピーサービス 白 黒二枚 10円
カラー一枚 50円

奈良県立万葉文化館万葉図書・情報室
奈良県高市郡明日香村飛鳥一〇
0744-54-1850（代）